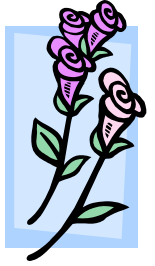


乾 癬



皮膚の表面が厚くなり、赤い斑(紅斑)ができます。

1. **原因**：不明なことが多いです。稀に遺伝、肥満、高脂血症、糖尿病との関連も指摘されています。
2. **種類**：尋常性乾癬、関節症性乾癬、滴状乾癬、膿疱性乾癬、乾癬性紅皮症
3. **症状**：かゆみがあります、種類によっては関節の痛みを伴います
4. **治療**：治療方法は様々ですが、患者様それぞれにどの治療が良いか違います。副作用、受診頻度、値段などご説明させていただき、選択していきます。

(ア) 当院でできる治療

- ① **塗り薬**：ステロイドとビタミンD3を主に使います。
- ② **飲み薬**：免疫抑制剤(ネオオーラル)、ビタミンA誘導体(チガソン)等
- ③ **光線療法**：ナローバンド UVB

(イ) 大学病院をご紹介する治療

- ① **注射療法**：生物学的製剤が保険適応になりました。レミケード、ヒューミラ、ステラーラの3種類があります。東海大学八王子病院で水曜日の午後乾癬外来を担当しております。注射の治療が必要になった場合、引き続き東海大で治療することが可能です。
- ② **膿疱性乾癬の場合、顆粒球除去も治療可能です。**

5. 注意すること

- (ア) **擦らない**：ケブネル現象といって、擦ったりすることが原因で皮疹を広げてしまいます。
- (イ) 患者様によっては風邪が引き金で悪化することがあります。のどをいたわるようにしましょう。